

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 4 月 18 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県妙高市大字杉野沢1675-1

氏名 株式会社 和信建設
代表取締役 竹田 宗一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0255-86-6245

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

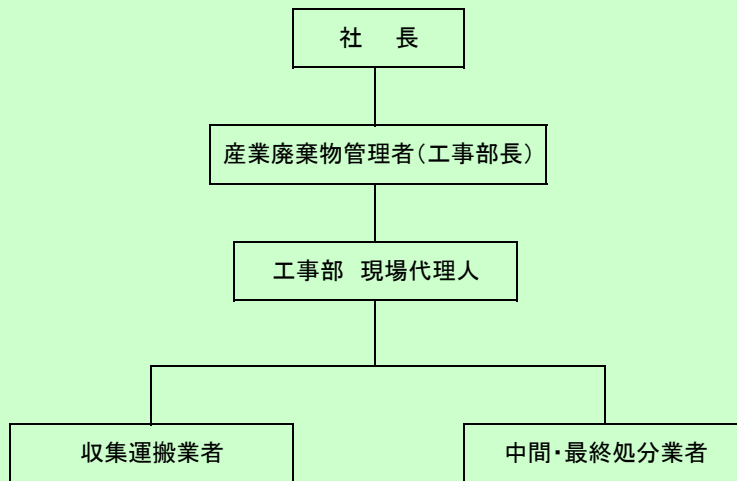
事業場の名称	株式会社 和信建設
事業場の所在地	新潟県妙高市大字杉野沢1675-1
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D
② 事業の規模	622,322千円
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 全て外部処理業者へ委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (29 年度) 実績】		コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	排出量	1,683.61 t	152.82 t	5.45 t	5.77 t	13.81 t	1.62 t	0.29 t	13.92 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	排出量	0.99 t	8.71 t						
(これまでに実施した取組)									
各現場の工事完了後、廃棄物発生数量を適正に処分したか確認した。									
【目標】		コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	排出量	150.00 t	31.00 t		0.10 t				14.00 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	排出量								
(今後実施する予定の計画)									
各現場の廃棄物発生の抑制を考慮する施工方法等の検討。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	各発生場にて種類毎に分別し、他廃棄物が混入しないよう管理。								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	廃棄物の分別を徹底し、混合廃棄物の削減を実施していく。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									

【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	全処理委託量	1,683.10 t	152.82 t	5.45 t	5.77 t	13.81 t	1.62 t	0.29 t	13.92 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	1.62 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,683.10 t	152.82 t	5.45 t	5.77 t	13.81 t	t	0.29 t	13.92 t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード							
	全処理委託量	0.99 t	8.71 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.99 t	8.71 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。									

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード						
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)									
再生利用可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する。									
※事務処理欄									

第 面 について